

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	河原林町	「まちづくり会議」のご指導・支援について	京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例(移住促進条例)に基づき、河原林町を始め、移住者の受け入れに積極的な地域を移住促進特別区域として京都府が指定しています。 亀岡市としても自治会向けにも移住者受け入れ体制強化のための補助金を用意しており、保津町や東本梅町が活用しています。 ホームページについても秘書広報課に相談をいただければ積極的に支援を行います。	市長公室長	①実施 ⑥その他	移住者受け入れ体制強化のための補助金につきましては、今年度宮前町も活用をされています。活用方法等につきましては、ふるさと創生課職員が御説明に伺いますので、御活用を検討いただきたいと思います。 ホームページについては、こん談会での回答のとおりです。
2	河原林町	「まちづくり会議」のご指導・支援について	地域版ハザードマップの作成については、市としても作成を積極的に促進しており、作成を通じてコミュニティ活動の活性化や地域の防災力が高まることを期待しています。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
3	河原林町	七谷川改修事業(天井川区間及び下流区間)の改修計画の早期実現と七谷川(天井川区間)左岸防災道路計画並びに周辺地の活用方策及び、通称南河原(七谷川分水路)の利用計画策定について	七谷川改修工事については大規模な工事を伴い長期間の工期を要することから、今年度中は上流への護岸工事の延伸は困難であると聞いているが、早期完成が図られるよう、市としても地元とともに京都府に強く要望してまいります。 左岸防災道路計画の策定については、地元からの意見を聞きながら河川改修事業と整合した計画を策定していきたい。 南河原の利用計画策定については地元のまちづくり計画に沿った利用計画をいただいた段階で、それに沿った協議をさせていただきたいと考えています。	まちづくり推進長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
4	河原林町	七谷川・古川の環境整備について	七谷川及び古川の水質測定を定期的に実施しており、現在のところ良好な環境が保たれています。生物が息ししやすい環境を整備していくためには河川管理者との協議、専門家の意見を聞きながら進める必要があり、地元自治会等のご理解・ご協力も必要になると考えております。	環境市民部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	河原林町	馬路町養豚施設の環境保全の徹底と土づくりセンターの臭気の問題について	地元自治会、農事組合法人丹波畜産協同組合、京都府、亀岡市の4者による「環境保全に関する協定書」は養豚場を運営していくにあたり関係者間の重要な確認事項であり約束事であると認識しており、この協定書の遵守は必須と考えております。協定書の履行状況の確認をする中で問題解消に向けた予定を丹波畜産より作成してもらい、地元自治会に提示し事態が改善するよう取り組んでもらう予定としています。 土づくりセンターについてもこれまでも種々対策を講じているものの業務の性質上、臭気が発生する施設であるとの認識をしています。農業公社の理事とともに先進地の視察を行っており、当センターにおいてもその手法を試験的に取り入れることで臭気の削減につながるよう努めていきたいと考えています。	産業観光部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	河原林町	「丹波NEW風土記の里」整備構想の具体化について	史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡について、国庫補助金の交付を受けて環境整備工事を進めており、平成29年度に基本計画、平成30年度に整備基本設計の策定が完了し、史跡指定地面積が広大であることから当面10年間で集中的に整備する計画区画を年次計画に基づき進めていきます。	教育部長	②実施予定	「丹波ニュー風土記の里整備構想」として、国分寺跡の史跡整備について、今年度から10年間かけて経蔵跡整備や鐘楼跡整備、僧房跡整備等を進めていく計画をしています。
7	河原林町	市道池尻宇津根線バイパス未整備区間の整備促進について	残工事としては馬路町内の宮前千歳線交差点部及び七谷川の橋梁とその南北取り合い区間、また宇津根橋付近となります。しかしながら一部の工事については交付金の割り当てが限定的であり事業費が確保できない状況にあることや用地協力が得られていない箇所があります。 当面の課題は財源の確保であることから、国及び府への交付金等の要望を行い、早期の全線開通が図れるよう今後とも取り組んでまいりたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	今年度、市道池尻宇津根線については河原林町地内の七谷川北側の約60m区間について築造工事を発注し、現在施工を行っているところです。 近年、交付金の割り当てが限定的であるため、計画的な進捗が図れない状況ではありますが、先だって内示のあった令和元年度補正予算において池尻宇津根線に交付金が配分されたことから、来年度、府道宮前千歳線から約200mの未施工区間について予算上可能な範囲で道路築造工事を順次進めてまいりたいと考えております。
8	河原林町	鳥獣害対策の強化について	有害鳥獣の捕獲活動については、亀岡市内全域の有害鳥獣捕獲について委託契約を結んでいる猟友会を中心に進めていきます。さらに計画捕獲期間外についても駆除要請書に基づき突発的な捕獲駆除を同会へ要請していきます。 カラスの対策としてのテグスは、過年度に設置した結果、切断されたことから一定の効果、なんらかの不快感を与えているものと考えており、今後は具体的な状況を把握するなど、京都府南丹広域振興局と連携しながら引き続き効果検証を行ってまいります。	産業観光部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
9	河原林町	堀越ゲートの改修工事について	堀越水路については、府立南丹高校建設時において浄化槽による排水処理を条件に水路改修された経過があります。当ゲートは河川敷地内に設置されており、河川の増水時にはゲートを閉めバックウォーターを防ぐための施設であると考えられるため、亀岡市としても状況確認を行い京都府に要望していきたいと考えています。	産業観光部長	③検討	京都府との協議・調査により、当該ゲートについては、現在亀岡市が所管していることが判明しました。現在、堀越水路については、農業用の排水路として利用されており、亀岡市としての対応方法並びに今後の管理等について、協議、検討中です。